

CASBEE-建築(新築)2014年版
戸畑メンテナンスサブセンター

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40					2.9
1 音環境		2.5	0.15					2.5
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		1.8	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		2.4	0.35					2.4
2.1 室温制御		2.7	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		2.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		2.7	0.25					2.7
3.1 屋光利用		1.8	0.30					
1 屋光率		1.0	0.60					
2 方位別開口								
3 屋光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 屋光制御		3.0	1.00					
3.3 照度	全般照明で平均照度862ルクスを確保	4.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気環境		3.9	0.25					3.9
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	仕上材はすべてF☆☆☆☆を使用している	5.0	1.00					
2 汚染物質対策								
4.2 換気		2.6	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能	自然換気開口比率=1/19	4.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50					
2 喫煙の制御	喫煙ルームを設け、直接外部に排気している	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.1
1 機能性		3.1	0.40					3.1
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30					
1 広さ感・景観	事務室の天井高さを2.7mとし、外部を望める窓を設置している	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	執務スペース425.79㎡に対し、リフレッシュルーム24.73㎡、5.8%確保	5.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30					2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種(汚水排水、給湯、雑排水)にC以上を使用	4.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.2	0.20				
1	空調・換気設備		3.0	0.20				
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20				
3	電気設備		3.0	0.20				
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20				
5	通信・情報設備		2.0	0.20				
3 対応性・更新性			3.3	0.30				3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30				
1	階高のゆとり	1FL~2FLの階高=3.75m、2FL~3FLの階高=3.85m	4.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.28	4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1	空調配管の更新性	天井ボードのビスをはずすことにより、配管の更新が可能	4.0	0.20				
2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性	配管、OAフロアを設けているため、更新が可能	5.0	0.10				
5	設備機器の更新性		1.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30				2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-				3.4
LR1 エネルギー			-	0.40				3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.82	4.0	0.20				4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10				3.0
3 設備システムの高効率化		BEI _m 非住宅 0.84 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50				4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.84	4.0	1.00				
集合住宅の評価(3c)								
4 効率的運用			2.0	0.20				2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		1.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング		3.0	-				
4.2	運用管理体制			-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				3.1
1 水資源保護			3.0	0.20				3.0
1.1 節水			3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60				3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		レディーミクストコンクリートに高炉セメントを使用	5.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		外構舗装に鉄鋼スラグ混入路盤材を使用	3.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20				3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)	土間下断熱材にスタイロフォーム使用(ODP:0 GWP:3)	4.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.5
1 地球温暖化への配慮		躯体に高炉セメントを使用 ライフサイクルCO2排出率50%以下	5.0	0.33				5.0
2 地域環境への配慮			2.6	0.33				2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	適切な自転車置場、駐車を確保している	5.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	0.33				
2	振動		3.0	0.33				
3	悪臭		3.0	0.33				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			2.3	0.40				
1	風害の抑制		2.0	0.70				
2	砂塵の抑制		-	-				
3	日照障害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			4.4	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告物照明がない	5.0	0.70				
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				